

# 仙台麦作情報

2019・03・08 平成31年産麦作 第2号  
宮城県仙台農業改良普及センター  
Tel 022-275-8410 Fax 022-275-0296  
<http://www.pref.miyagi.jp/site/sdnk/>

## ○生育状況

管内の麦類の生育は順調に進んでいます。

3月6日現在、10月下旬に播種した大麦のほ場では、幼穂長が2ミリに近づいていることから、管内の大麦の幼穂形成期は概ね3月中旬頃になると考えられます。追肥時期を失しないようにしてください。



大麦シュンライ(3月6日現在)  
仙台市若林区10月25日播種 幼穂1.7mm



大麦ホワイトファイバー(3月6日現在)  
大和町落合 11月2日播種 幼穂1.3mm

## ○麦作のポイント

### 1. 麦踏み

茎立ち期(大麦で3月中旬頃)までは麦踏みが可能ですので、表土が乾いたら直ちに実施してください。

### 2. 追肥

時期が遅れると追肥の効果が十分に得られません。幼穂長を確認(方法は裏面に記載)し、追肥は遅れないように実施してください。追肥量は下の表を参考に、目安量施用しましょう。

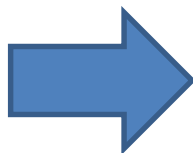
	幼穂形成期 (幼穂長2～3mm)	減数分裂期 (幼穂長20～30mm)
大麦	3月上旬～中旬 N1.5～2kg/10a (硫安7kg～9.5kg)	4月上旬～中旬 N1.5～2kg/10a (硫安7kg～9.5kg)
小麦	3月中旬～4月上旬 N2～2.5kg/10a (硫安9.5kg～12kg)	4月中旬～5月上旬 N4～5kg/10a (硫安19kg～24kg)

次回の麦作情報第4号は3月下旬を予定しています。

## ○幼穂長計測の方法



麦類の主茎



外葉を剥いていく



剥き出した幼穂

- ①主茎(分けつした茎の中で最も太い茎)を選ぶ
- ②左上画像に○で示した箇所が残るように外側から葉を剥いていく
- ③手で剥けないくらい大きになったらカッター等で外側から剥がす
- ④幼穂が茎の中心部に見られるので、定規等で計測する

## ◎もち大麦「ホワイトファイバー」の今後の管理のポイント

※出穂期は「シュンライ」より1～2日遅く、成熟期は同程度～1日遅い早生品種に区分されます。

### ○追肥

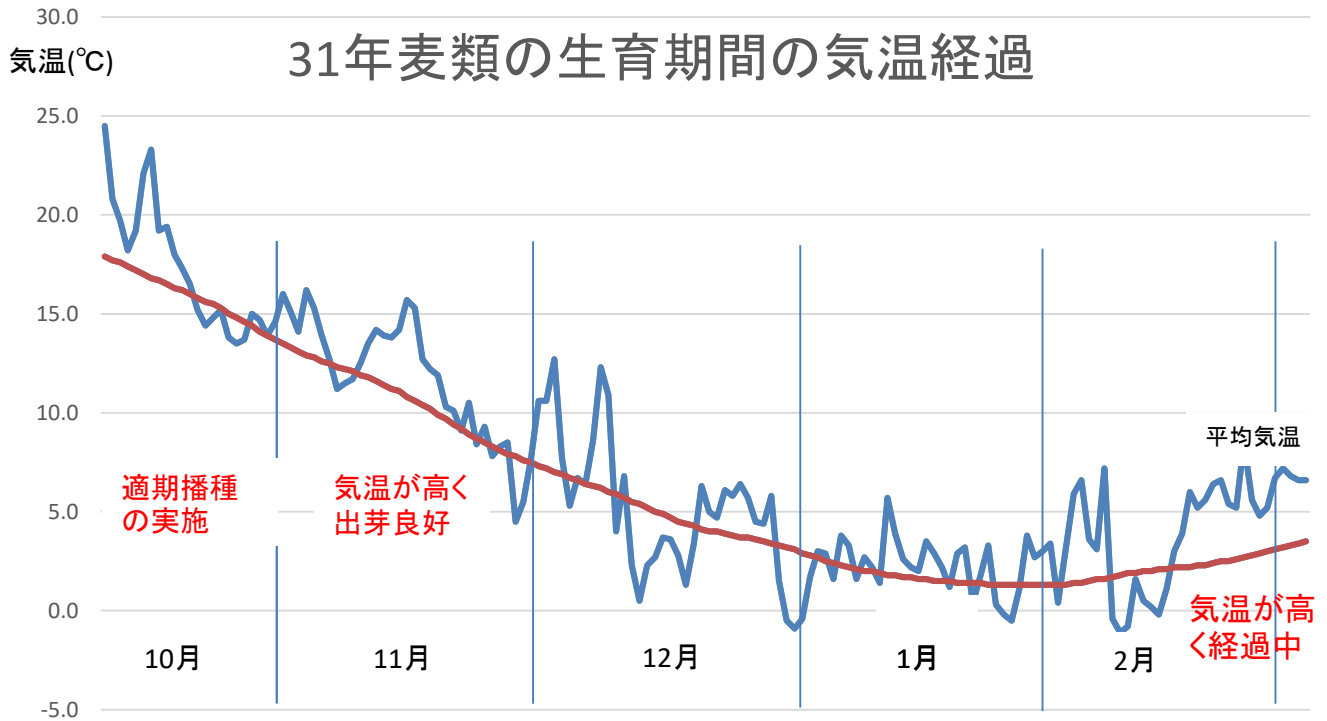
もち大麦の特徴を活かした販売のため、高いβ-グルカン含有率が求められます。追肥は幼穂形成期・減数分裂期の2回を基本とし、β-グルカン含有率の低下を避けるため、減数分裂期追肥は必ず行ってください。

### ○麦踏み

「ホワイトファイバー」は耐倒伏性が「シュンライ」と比べてやや劣る「やや強」であるため、越冬前1回、越冬後2回を目安に必ず行ってください。



ホワイトファイバー(11月2日播種)



## 東北地方 1か月予報

(3月9日から4月8日までの天候見通し)

平成31年3月7日

仙台管区气象台 発表

#### <特に注意を要する事項>

期間のはじめは、気温がかなり高い見込みです。

#### <予想される向こう1か月の天候>

東北日本海側では、平年と同様に曇りや雨または雪の日が多いでしょう。

東北太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

向こう1か月の平均気温は、高い確率60%です。

週別の気温は、1週目は、高い確率80%です。2週目は、高い確率60%です。

1週目 : 3月 9日(土)～ 3月15日(金)

2週目 : 3月16日(土)～ 3月22日(金)